

2016年6月10日
中央大学

文部科学省「経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援」
2016年度東日本第2ブロック・イベント グローバル人材育成フォーラム
第二部 学生英語プレゼンテーション大会 募集要項

この度、文部科学省「経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援」採択大学(東日本第2ブロック)が主催する東日本第2ブロック・イベント「グローバル人材育成フォーラム」が、2016年11月23日(水)に早稲田大学にて開催されます。同イベントでは、各大学から選抜された学生チームによる英語プレゼンテーション大会が企画されております。

つきましては、以下のとおり英語プレゼンテーション大会に出場する学生チームを募集いたします。積極的なご応募をお待ちしております。

1. 開催日時 2016年11月23日(水・祝) 13:00～17:00

2. 会場 早稲田大学 国際会議場 井深大記念ホール
(〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 1-20-14)

3. 課題テーマ **Networking among Local Communities for Global Society**
グローバル社会につながる地域社会ネットワーク

課題

Create a project in which Japanese university students bring together local communities, in Japan and overseas, at the grassroots level, with "sustainability" in mind.

日本の大学生と国内外の地域社会が草の根レベルで一体となってより良いグローバル社会を実現するためのプロジェクトを、「持続可能性」を考慮に入れて創出してください。

4. 発表方法 英語による10分間のプレゼンテーション

5. 参加単位 1大学1チーム(3～5名)
※外国人留学生は全体の半数を超えない範囲で参加可能です。
※複数の応募がある場合は学内選考で代表チームを選出ください。
※10月29日(土)に予選会を行い、通過した8チーム(大学)が11月23日(水)の本選でプレゼンテーションをおこないます。

6. 審査基準 審査項目に沿って、60点満点で審査されます。

7. 審査項目
- 以下①②の項目・点数の合計点で審査されます。
各項目の詳細は「参考1」をご参照ください。
- ① 内容 (4項目各5点満点×2倍＝40点満点)
- A テーマとの合致
 - B 独創性・創造性
 - C 実現可能性
 - D 論理構造
- ② 表現・構成 (4項目各5点満点×1倍＝20点満点)
- E 分かりやすさ
 - F 視覚情報の効果
 - G プレゼンテーション全体の構成
 - H メンバーの役割
8. 表彰
- 本選審査員により1位から3位までを選び、表彰。
9. 使用機材
- プレゼンテーションで利用できる機材は以下の通りです。
PC／プロジェクター／マイク／音声ケーブル (仕様確認中)
会場ではインターネット接続はできません。また、演出に使用する道具については、出場者による当日の搬入・設置・管理が可能なものに限り可とします。該当する場合は事前に相談してください。
10. エントリー
- 各大学で取り纏めて下記の書類をEメール添付で提出してください。
●エントリーシート (専用様式／別紙)
エントリー期日 10月15日(土)
11. 書類提出
- エントリー後、下記の書類2点をEメール添付で提出してください。
提出された書類は予選・本選当日の配布物にそのまま利用します。原則として書類提出後の内容変更はできませんのでご注意ください。
- A. チームメンバー紹介 (A4サイズ片面1枚)
【記載内容】
チーム名(日英)／メンバー紹介・略歴・顔写真／大学名・ロゴ
- B. 発表内容要旨 (日英) (A4サイズ片面1枚)
【記載内容】
プレゼンテーションタイトル(日英)／発表要旨(日英)／大学名・ロゴ
※必須記載事項、レイアウトの注意点について「参考2」をご確認ください。
提出期日 10月20日(木)
12. 予選について
- 応募大学が多数の場合、予選会を行い本選出場チームを決定します。
予選の有無はエントリー数の集計終了後、各大学に連絡します。
■予選日程 10月29日(土) 12:30～17:00(予定)

- 会 場 中央大学 多摩キャンパス
- 選出方法 3～4 グループに分かれて本選と同様にプレゼンテーションを行い、審査基準に基づき審査を行い、上位8チームを選出します。
- 審 査 員 全18大学から審査員を1名ずつ選出
- 審査基準 本選に準じます
- 会場仕様 一般教室を使用するため本番環境より狭い会場となります。
- 留意事項 書類提出後の大幅な発表内容変更は認めません。
予選通過チームは、11月8日（火）に本選会場下見を予定しています。

1 3. 留意事項

応募に際し、下記の事項に留意してください。

- (1) 本選、予選とも同じテーマ、審査基準を適用します。
- (2) 当日の配布物に出場チームメンバーの顔写真や紹介が掲載されます。
- (3) プレゼンテーションの様子は、後日、実施報告書等に掲載されます。
著作権や肖像権を侵害しないよう留意して構成してください。

1 4. スケジュール

エントリーから本選までのスケジュールは以下の通りです。

10月15日（土）	エントリーシート提出
10月20日（木）	書類A・B提出
10月29日（土）	予選（中央大学）※
11月 8日（火）	会場下見（早稲田大学）※
11月23日（水・祝）	本選（早稲田大学）※

※詳細は後日連絡します。

1 5. 連絡先

各種書類のご提出、問合せ等は下記までお願いします。

中央大学 国際センター（担当：早川／^{こうもと}河本）

Email chuo-gg.j@tamajs.chuo-u.ac.jp

電話 042-674-2201／2218

以 上

(参考1) 評価項目一覧

評価項目		評価基準
内容 Contents	A Theme Applicability テーマとの合致	Does the presentation match the competition theme? プレゼンテーションの内容が与えられたテーマに沿っているか。
	B Originality/Creativity 独創性・創造性	Is the idea unique? アイディアは学生らが考え出した独創的なものであるか。
	C Feasibility 実現可能性	Is the content based on actual data and does it have high feasibility? 内容は実際のデータに裏付けされ、実現可能性の高いものとなっているか。
	D Logical Structure 論理構造	Is the presentation structure logical and consistent? プレゼンテーションの構造は、論理的で矛盾がないか。
5点×4項目×2 = 40点満点		5 points x 4 criteria x 2 = 40 points
表現・構成 Expression & Composition	E Easy-to-understand 分かりやすさ	Is the explanation clear with adequate vocabulary, good articulation, and effective use of non-verbal communication? 発表内の解説は、語彙や発声、非言語的コミュニケーションの効果的使用に伴って明瞭になっているか。
	F Effectiveness of Visual Information 視覚情報の効果	Is the visual information appropriate for the presentation contents? 資料等の視覚情報は、プレゼンテーションの内容に沿った適切なものであるか。
	G Presentation Balance プレゼンテーション全体の構成	Is the speaking, performance and visual information well balanced and appropriate? 発話、演技、視覚情報などが適切にバランスよく構成されているか。
	H Members' Roles メンバーの役割	Are all members participating in the performance? チームのメンバー全員がプレゼンテーションに参加しているか。
5点×4項目×1 = 20点満点		5 points x 4 criteria x 1 = 20 points

(参考2) 提出書類 A および B 作成について

右のイメージを参考に、大学名と大学ロゴの位置、必須記載事項に留意して作成してください。

A チームメンバー紹介	B 発表内容要旨（日英）
(左上) 大学名+ロゴ A4サイズ 1枚 【必須記載事項】 -チーム名（日英） -メンバー紹介、略歴等 -メンバー顔写真 -大学名+ロゴ等（ページ左上） レイアウト自由	(右上) 大学名+ロゴ A4サイズ 1枚 【必須記載事項】 -プレゼンテーションタイトル（日英） -発表要旨（日英） -大学名+ロゴ等（ページ右上） レイアウト自由